

平成23年度 事業計画(案)・収支予算(案)

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日



平成23年5月28日(土)

NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会

平成 23 年度 N P O 法人川学ぶ体験活動協議会 事業計画書 (案)

1. 会議

- (1) 理事会 平成 22 年度の活動報告・会計報告、平成 23 年度の活動計画・収支予算等についての検討を行う。

[開催日時] 候補 平成 23 年 5 月 28 日(土) 14:00~15:00 / 東京都

- (2) 総会 平成 22 年度の活動報告・会計報告の承認、平成 23 年度の活動計画・収支予算等についての報告を行う。

[開催日時] 候補 平成 23 年 5 月 28 日(土) 15:30~17:00 / 東京都

[開催場所] 候補 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟

- (3) 常任理事会 業務執行に関する検討を随時行う。
審査認定及び審査認定に関する各種細則の作成を行う。

(4) 専門部会・委員会

下記の専門部会・委員会ごとに主な事業を推進する。

企画総務部会

年度 総務対応 / 全国大会対応 / 地域ブロック毎の普及活動促進・把握 / RAC 保険の検討 / 広報印刷物の検討 / 全国一斉 1 万人・川の流れ体験キャンペーン / 全国川遊び百選の拡充 / RAC 資機材の販売促進 / RAC フォーラム企画運営等 を行う

人材育成部会

トレーナー制度検討及び更新講習会企画準備 / 各講座開催サポート / RAC 指導者養成カリキュラムの検討 / 安全対策講習会(「水辺のファーストエイド講習」「RAC 水辺のレスキュー講習会(中級)」等)の検討等 を行う

組織強化部会

RAC 加入団体指導者に関するデータ分析・組織強化策の企画 / 河川管理者、教育関係団体、学校との連携 / 民間企業 CSR との連携・研究の推進 / 地域ミーティングの企画準備等 を行う

学校連携委員会

学校連携のパイロット校を選定して学習構築モデルを作る 等

安全対策委員会

川での体験活動の更なる安全対策の検討 / RAC 登録指導者や会員団体の事故遭遇時の対応 等を行う

審査認定委員会

川の体験活動指導者養成講座等 RAC 認定講座や支援の審査を行う。

2. 講習会等

(1) 川の指導者養成講習会、トレーナー更新講習会等

河川整備基金申請事業(4,500千円)

RACインストラクター1・2種、コーディネーター養成講座、トレーナー研修会等(20講座程度)

各地で川に学ぶ体験活動を推進するための高度な専門家を養成する。(講座の支援については事前調査申請書を申請した団体で且つ開催地域の河川管理者と連携した取り組みについて優先的に行う。)

RACトレーナー養成講習会をCONEトレーナー養成会との併催を調整して開催する。

日時) 候補 平成23年10月28日(金)13時~30日(日)16時

会場) 候補 安藤百福記念自然体験活動指導者研修センター(長野県小諸市)

付加資格関連講座・専任講師養成講座の展開

インストラクター等高度な専門家を養成する一環として、水辺のリスクマネジメント講座及び水辺のレスキュー講習、Eボート指導者講習をRACリーダー養成講座と併せて展開する。また、それらの講師を担える専任講師を養成するための講座を展開する。(その他、各地の高度な専門家となるために、「水辺のファーストエイド」や「川の防災教育」、「水生生物調査」に関する付加資格の講習カリキュラムについて検討する。)

関連事業

高度な専門知識・技術を取得するための川の指導者養成カリキュラムの再検討や講習指導用教材づくりも検討する。

(2) その他講習会

RAC認定の講座として下記講座等の認定を行う。

子ども水辺安全講座

子どもの水辺安全講座を開催する場合には、インストラクター1種以上の指導者が1名以上いること等を必要条件とする。

RACサマーキャンプ

これまで展開してきた小学生向けの川でのサマーキャンプを講座認定対象に加え、受講した子どもへ受講証を発行する仕組みとする。

3. 全国大会等

(1) 第11回川に学ぶ体験活動全国大会 in 鶴見川

「川に学ぶ」体験活動を普及することなどを目的に、実行委員会形式による全国大会を共催する。

日 時：平成 23 年 9 月 17 日（土）～ 19 日（月）

会 場：調整中（神奈川県横浜市）

主 催：川に学ぶ体験活動全国大会 in 鶴見川

(2) R A C フォーラム等の開催

子どもゆめ基金申請事業（1,109 千円）

テーマ：体験活動教育の安全や小学校の授業における「川育」導入・利活用の方策

日 時：平成 24 年 2 月上旬（候補日 2 月 4 日（土） 5 日）

参加費：5,000 円程度（食費宿泊費別）

会 場：会場としては交通アクセスが良いところ。可能であれば3つの地域で開催できるか助成団体及び開催地域と相談する。

4. 調査研究事業

(1) 調査検討業務

（受託目標額 7,000 千円）

川の体験活動指導者普及事業

- ・ R A C リーダーの少ない地域で指導者養成講習会を水辺のリスクマネジメントおよびプロジェクト W E T と合わせて開催する。また、他地域においても継続して川の指導者の養成を推進する。

学校連携推進事業

- ・ 学校連携のパイロット校を選定して学習構築モデル作る。

水辺のひやりはっと事例の拡充

- ・ ホームページの情報サイト「水辺のひやりはっとプラットフォーム」の事例拡充等を行う。

その他関連事業

- ・ 「川に学ぶ体験活動」を普及するために必要な調査業務を提案する。
- ・ 川の指導者養成講座の運營業務を行う。
- ・ 河川水難事故防止に向けた講習会の運營業務を行う。
- ・ その他 R A C の目的を達成するために必要な業務を提案する。

5. 広報・普及活動

(1) 全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン(共催事業)

きれいな川と暮らそう基金申請事業(600千円)

- ・子どもまたは親子向けにライフジャケットの着用等川での安全を学習し、活動の一つとして川をきれいにする活動を行うことで、楽しさの中で自ら川をきれいにしたという思いを醸成する。併せて活動の動画記録をHPにて配信する。

(2) 広報活動

- ・メールマガジン「RACNEWS」を随時発行。
- ・ホームページを随時更新する。
- ・役員が中心となり各地域で普及活動を展開し、会員の拡大、指導者の登録及び更新率の向上を図る。
- ・「川育」のパンフレットを作成し、いろいろな地域の団体や小学校などに配布して教科教育や環境教育など川での教育活動の普及を行なうための準備を行う。

(3) 川の指導者の道具、教材の販売及び貸出促進事業

RACオリジナルグッズを普及し、より安全な水辺の体験活動の普及を行う。

(4) 広告事業

ホームページや各種パンフレットを活用し、広告事業を積極的に展開する。

6. その他

(1) 講習会関係

- ・講師派遣、CONE等指導者登録に関する業務を行う。

(2) 資機材管理

- ・子どもの水辺サポートセンターの水辺体験活動資機材の管理を行う。

(3) 企業系助成事業

- ・当法人の展開する事業を促進する為に積極的に企業系の助成事業へ提案・実施する。

平成23年度 収支予算書(案)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

特定非営利法人 川に学ぶ体験活動協議会

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(収入の部)				
事業活動収入				
1. 会費収入	3,100,000	4,600,000	1,500,000	
年会費収入	1,600,000	2,100,000	500,000	
登録手数料収入	1,500,000	2,500,000	1,000,000	
2. 寄付金収入	300,000	300,000	0	
3. 助成事業収入	5,609,000	10,934,000	5,325,000	
河川整備基金助成事業収入	4,500,000	5,100,000	600,000	
地球環境基金助成事業収入	0	4,000,000	4,000,000	
子ども夢基金助成事業収入	1,109,000	1,234,000	125,000	
きれいな川と暮らそう基金助成事業収入	0	600,000	600,000	実行委員会(60万円)
4. 講習会事業収入	2,360,000	2,500,000	140,000	
講師収入	300,000			
講習会受講料	400,000			
学校支援リーダー(借受分)	970,000			
川に学ぶ全国大会(借受分)	690,000			
5. グッズ等著作事業収入	3,800,000	6,000,000	2,200,000	
グッズ販売	3,500,000			
グッズレンタル	300,000			
6. 受託事業収入	7,575,000	10,000,000	2,425,000	
調査研究業務	6,050,000			
指導者養成等講座運営事業収入	925,000			
サポセングッズ管理	600,000			
7. 雑収入	320,000	0	320,000	テキスト広告等
事業活動収入計	23,064,000	34,334,000	11,270,000	
投資活動収入			0	
1. 特定資産取崩収入	0	0	0	
調査研究基金取崩収入	0	0	0	
退職手当等取崩収入	0	0	0	
2. 敷金戻り収入	0	0	0	
敷金戻り収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
当期収入計	23,064,000	34,334,000	11,270,000	
(支出の部)				
事業活動支出				
1. 自主事業費	450,000	1,300,000	850,000	
広報宣伝費	100,000	200,000	100,000	
「水辺のひやりはっと」検証・普及啓発費	50,000	100,000	50,000	
地域ミーティング等	0	700,000	700,000	
「川育」プロジェクト	300,000	300,000	0	商標登記費用
2. 助成事業費	5,609,000	10,934,000	5,325,000	
川に学ぶ体験活動指導者養成講座開催費	4,500,000	5,100,000	600,000	
川のサマーキャンプ開催費	0	4,000,000	4,000,000	
RACフォーラム	1,109,000	1,234,000	125,000	
川の流れ体験キャンペーン	0	600,000	600,000	実行委員会(60万円)
3. 講習会事業費	1,930,000	2,200,000	270,000	
講師派遣支出	150,000			
講習会関連費	120,000			
学校支援リーダー養成講座(借受分)	970,000			
川に学ぶ全国大会費(借受分)	690,000			
4. グッズ等著作製作・管理費	2,805,000	4,800,000	1,995,000	
グッズ販売	2,625,000			
グッズレンタル	180,000			
5. 受託事業費	5,808,000	5,200,000	608,000	
調査研究業務	4,881,750			
指導者養成等講座運営事業費	416,250			
サポセングッズ管理	510,000			
6. 管理費	6,062,000	9,580,000	3,518,000	
人件費	3,500,000	5,900,000	2,400,000	
賃貸料	1,062,000	1,380,000	318,000	
管理諸費	1,200,000	2,000,000	800,000	
法人税等	300,000	300,000	0	
事業活動支出計	22,664,000	34,014,000	11,350,000	

投資活動支出			0
1. 特定資産繰入支出	100,000	100,000	0
調査研究基金繰入支出			0
退職手当等引当預金繰入支出	100,000	100,000	0
2. 敷金繰入支出	0	0	0
敷金繰入支出			0
3. 固定資産取得支出	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	100,000	100,000	0
予備費支出			0
予備費支出	300,000	220,000	80,000
当期支出計	23,064,000	34,334,000	11,270,000
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	2,596,401	3,499,321	902,920
次期繰越収支差額	2,596,401	3,499,321	902,920

[注] 短期借入金限度額 5,000,000円(前年度 5,000,000円)

公益法人会計における内部管理

事業活動収支	400,000	320,000	80,000
投資活動収支	100,000	100,000	0
予備費	300,000	220,000	80,000
収支計	0	0	0